



統計スポット情報

No. 64

14.7.31

福井県総務部情報政策課

最近の労働時間と給与の推移について

雇用情勢が厳しいといわれますが、県内の労働時間および給与について、近年どのような変化が現れているのかを、13年毎月勤労統計調査地方調査結果からみていきましょう。この調査の対象は、常用労働者を常時5人以上雇用する事業所です。

総実労働時間は前年比0.9%減少

平成8年から10年にかけて減少していた総労働時間は平成11年から12年にかけて増加に転じていましたが、平成13年は再び減少しています。平成13年の一人平均

月間総実労働時間は、156.6時間で対前年比0.9%減となっています。(図1)

所定外労働時間は前年比14.6%減少

総実労働時間と同じように平成11年、12年は増加に転じていた所定外労働時間ですが、平成13年はやはり減少しています。平成13年の一人平均月間所定外労働時間は7.4時間で、対前年比14.6%減となっています。

特に景気の動向と関係の深い製造業の平成13年の一人平均月間所定外労働時間は、7.7時間で、対前年比20.8%減となっています。(図2)

現金給与総額は前年比2.9%減少

平成13年の一人平均月間現金給与総額は、318,311円で前年比2.9%減でした。

現金給与総額のうち、きまって支給する給与は256,666円で、前年に比べ2.6%減となりました。(図3)

(注) 指数については、平成12平均=100とし、グラフでは右軸で表示しています。

